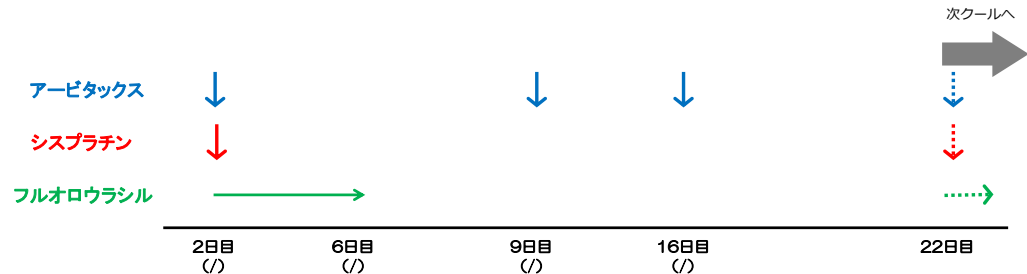


レジメンと主な副作用の指導内容

☆治療スケジュール：FP+CET療法（初回）

下記の治療を3週間毎に繰り返します。



<アービタックス投与30分前に内服>

お薬の名前	お薬の効果
レスタミンコーワ錠 1回5錠	アレルギー予防



ルート①

投与時間		お薬の名前	用法用量	お薬の効果	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	9日目	16日目
0～1日目	2日目～				/	/	/	/	/	/	/	/
19:00～0:00	2日目～	ソルデム1	500mL	水分補給	○							
0:00～9:30		ソルデム3 A	1000mL			○						
9:30～10:00	9:30～10:00	デキサメタゾン 生理食塩液	6.6mg (2日目のみ9.9mg) 100mL	吐き気予防 アレルギー予防		○	○	○	○		○	○
	10:00～23:30 (5日目のみ～24:00まで)	ポタコールR	500mL	水分補給			○	○	○			
10:00～12:00*	2日目～	アービタックス 生理食塩液	[400mg/m ²] mg* 250mL	抗腫瘍剤		○					○	○
12:00～12:30		プロイメンド 生理食塩液	150mg 100mL	吐き気予防		○						
12:30～13:00	2日目～	アロキシバッグ	0.75mg/袋									
13:00～15:30		ソルデム3 A 硫酸マグネシウム	500mL 20mEq/20mL	水分・電解質 補給		○						
15:30～18:30	2日目～	シスプラチン 生理食塩液	[100mg/m ²] mg 500mL	抗腫瘍剤		○						
18:30～20:00		マンニトール	300mL	利尿剤		○						
20:00～22:00	2日目～	ソルデム3 A	500mL	水分補給		○						
22:00～23:30		生理食塩液	500mL				○					
23:30～翌9:30		ソルデム3 A	500mL				○	○	○			

ルート②

20:00～翌20:00	フルオロウラシル ソルデム3 A	[100mg/m ²] mg 500mL	抗腫瘍剤		○ 20:00～	○	○	○	○	○ ～20:00		
--------------	---------------------	-------------------------------------	------	--	-------------	---	---	---	---	-------------	--	--

※アービタックスは2回目以降、減量 (250mg/m²) し、時間短縮 (10:00～11:00) されます。

☆副作用について

○自覚症状として現れるもの

- ・注射時反応（アービタックス点滴中～）
点滴開始後に発熱、さむけ、発疹などの症状が現れることがあります。
また、吐き気や頭痛、倦怠感などが起こる場合もあります。
特に初回に多いと言われています。症状が現れた場合はすぐにお知らせください。
- ・眠気、ふらつき（点滴中～）
レスタミン錠の影響により症状が現れる場合があります。
点滴当日は、運転や危険を伴う行動は避けてください。
- ・吐き気（当日～）
- ・味覚異常、臭覚過敏（当日～）
- ・便秘（当日～）
- ・皮膚症状
発疹、皮膚の乾燥、ひび割れが起こることがあります。
皮膚を清潔に保ち、保湿を心がけ、刺激を与えないようにしてください。
- ・口内炎（1～2週間ごろ）
普段からうがいなどで口の中をきれいに保ってください。
- ・下痢
腹痛や1日4回以上の下痢、水様便、夜中に下痢が継続する場合はお知らせください。
- ・聴覚障害
高い音が聞きとりにくい、耳鳴りがするなど症状が現れた場合は連絡してください。
- ・腎機能障害
予防のために水分の点滴を行い、尿量を確保します。
無理のない程度の水分摂取を心掛けてください。
- ・間質性肺炎
咳・息切れ・息苦しい・発熱などの症状が現れることがあります。

○自覚症状として現れにくいもの（定期的に検査します）

- ・検査値異常
電解質異常（マグネシウム、カルシウムなどの減少）が現れることがあります。
- ・骨髄抑制（1～2週間ごろ）
白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。
→白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を心掛けてください。
値によっては増やす薬を使用することがあります。
→赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。

☆注意事項

※現れる副作用は個人差があります。

上記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談してください。

※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。

※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。